

Reitaku ILC

International Leadership Course



ILC Curriculum

ILCでは、高等学校の通常の英語の授業に加えて、“English Language Arts”という科目を履修します。この授業はすべて英語で行われ、英語力だけでなく、コミュニケーション力、リーダーシップ、論理的思考力、情報収集力、問題解決能力なども鍛えるという特徴的な内容です。なお、この科目を設定するために、他のコースと比べて数学と理科の履修単位数を少なくしています。(学習指導要領で定められた必要単位以上は履修します)。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
4	国語総合				世界史A		数学I		科学と人間		生物基礎		English Language Arts I				英語I		ライティング		体育		保健		情報A		芸術		道徳		LHR / 自分プロ					
5	現代文		古典		古典講読		世界史B		日本史B		数学A		English Language Arts II				英語I-I		ライティング		体育		保健		家庭基礎		道徳		LHR / 自分プロ							
6	現代文		現代文演習		古典(古文)		古典講読(漢文)		日本史B or 世界史B		数学I演習 or 地歴演習		現代社会		English Language Arts III				リサーチ		リーディング		英語演習 or 生物基礎演習		体育		道徳		LHR / 自分プロ							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36

ILC 三年間で学ぶ主な事柄

“English Language Arts”の時間を中心に、以下のようなプログラムを実施します。講義形式の授業は少なく、主にアクティビティー(活動)を通して学ぶことを基本としています。グループでのプレゼンテーションも多く取り入れており、様々な人と活動する中で人間的にも成長できるようにプログラムが組まれています。

1年目

- ★効果的なコミュニケーションとは何か
- ★発音やスキット
- ★スピーチ(自己紹介、家族、家、How to)
- ★面接試験
- ★予定の立て方・勉強の仕方
- ★文法
- ★読書感想文の書き方
- ★エッセイの書き方



2年目

- ★長文リーディング
- ★スピーチ(物語、オーストラリア)
- ★プレゼンテーション(問題解決、オーストラリア、国、ニュース)
- ★コマーシャル製作
- ★事前合宿
- ★情報収集、分析
- ★文の書き換え、要約の仕方
- ★ミニ討論
- ★オーストラリア留学



3年目

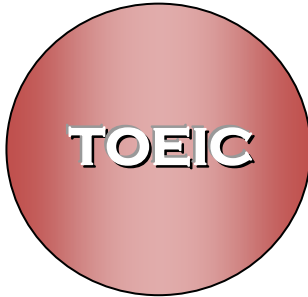
- ★スピーチ(自分の意見と反対の意見、即席)
- ★仕事について(ビジネスレター、面接、会社を設立)
- ★新聞への意見文の投稿
- ★卒業論文
- ★模擬外交
- ★情報収集、分析、まとめ
- ★ディベート



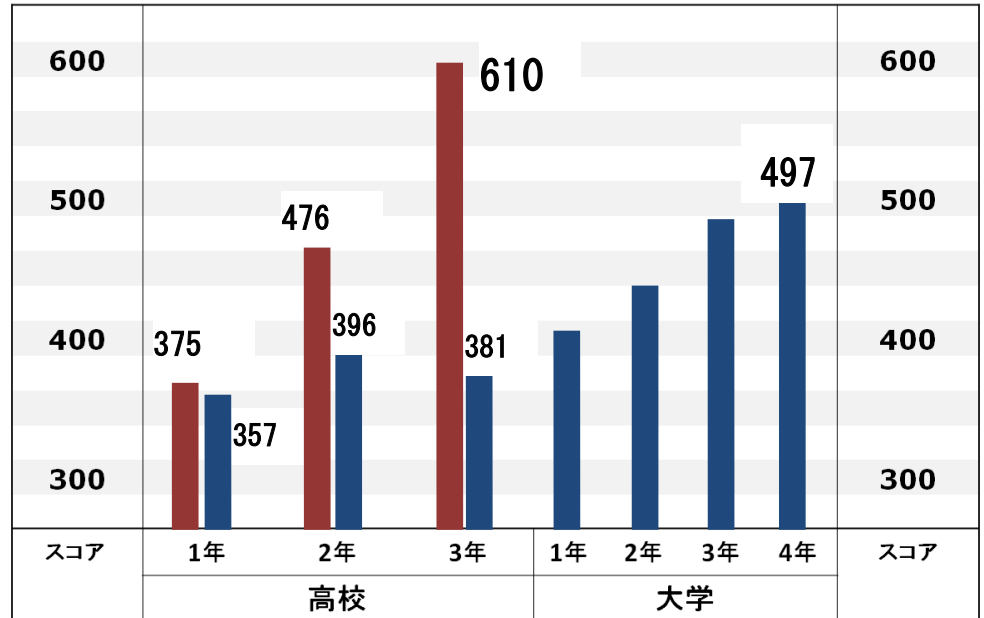
International Leadership Course

実践的な英語力、論理的思考力、リーダーシップなど、実社会や海外でも通用する力が身につきます。TOEICは4年生から全員が受験し、卒業時まで600点以上に達することを目標としています。以下の表はILCの各学年の平均点(2006~2011年)です。

大学入試に向けても、十分な実力が身につくように配慮しています。難関大学のAO(Admission Office)入試や公募推薦入試に向けての指導や面接の練習なども行っています。



■ ILCクラス平
■ 全国平均



主な大学合格実績(延べ数)

ILCでは基本的に文系の難関私立大学を目指してカリキュラムが作られています。

特徴的なのは、一般的な英語コースとは異なり、英語(外国語・国際)系だけでなく、経済・経営、法学、教育など、英語を身につけた上で、語学系以外の学部系統を目指して進学する生徒が多いことです。

2011年 卒業生 28名	琉球	1	立教	1	成城	1
	国際教養	1	中央	1	東洋	2
			法政	3	獨協	4
	早稲田	1	神田外語	7	日本女子	1
	上智	2	國學院	1	立命館アジア	1
2010年 卒業生 39名			駒澤	1	麗澤	2
	東京外国語	1	明治	7	國學院	2
	国際教養	1	青山学院	5	駒澤	2
			立教	3	成蹊	2
	早稲田	4	法政	1	成城	2
	上智	1	学習院	1	獨協	12
2009年 卒業生 30名	国際基督教	1	神田外語	6	日本女子	1
					麗澤	2
	京都	1	明治	3	津田塾	1
			青山学院	3	獨協	8
	早稲田	2	立教	1	日本女子	1
2008年 卒業生 36名	上智	3	法政	2	フェリス女学院	1
			成城	1	明治学院	1
					麗澤	2
	早稲田	5	明治	7	獨協	6
	上智	4	青山学院	4	日本女子	2
		法政	3	フェリス女学院	3	
		成蹊	2	明治学院	3	
		聖路加看護	2	麗澤	5	

麗澤 ILC 生徒や卒業生の声

N さん ILC 高校 2 年生

僕はこの ILC に入ってとっても良かったと感じています。ILC では、たくさんのグループワークがあります。それらを仲間たちと助け合いながら、一つ一つ課題をクリアしていき、仲間との絆を強めることができます。課題はつらいですが、それらをクリアしたときの達成感はとても大きく、そのような機会がたくさんある分たくさん達成感も味わえます。そして、その都度、自分が成長するのを感じられます。ILC は本当に良いクラスです。

N さん ILC 高校 2 年生

ELA(“English Language Arts”)では英語の力が伸びるのはもちろんですが、英語以外にもたくさん学べることがあります。特にグループワークでは、いかに一人一人が責任を持って協力をするのが大事なのかを身をもって実感することができますし、また課題をこなす度に仲間との絆が強まって、本当に課題一つ一つがよい思い出になります。普段の生活や他の学校、他のコースでは体験できないことを学べます。大変な時もあるけれど、仲間と一緒に楽しく学べるのが ILC の魅力だと思います。

M さん ILC 高校 3 年生

ILC ではいつもスピーチの原稿やその他の宿題に追われ、大変な毎日を送っています。けれども、私たちは ILC のルールにもあるように、自分の行動に責任を持ち、助け合うことでスピーチやプレゼンテーションを成功させてきました。ILC では、クラスのメンバー全員で一つのことを成し遂げる機会が多いので他のどのクラスよりも団結しています。また、ネイティブの先生方は授業以外の場所でも積極的に声をかけてくださり、先生と生徒というよりは ILC の仲間の一員という気がします。私は今、助け合うことのできるクラスメイトとフレンドリーでとても頼りになる先生方と一緒に、大変であると同時に楽しい毎日をおくっています。私がそうであるように、ILC に入って後悔する人は一人もいないと思います。そのため、少しでも ILC に興味のある人は迷わず、入試の壁を乗り越え ILC のメンバーになることをお勧めします。

M さん 2007 年 国際コース卒業生 現在神田外語大学 国際コミュニケーション学科 4 年生

国際コースで私が学んだことは知識、尊敬、協調、そして調和です。国際コースには沢山の課題やグループワークがあり、うまくいかず、困難に思えたときもありました。しかし、今思い返してみれば、国際コースに在る間で悩んだ時間より、笑っていた時間の方が多かったような気がします。それは、どんな壁にぶつかった時も、常に同じ境遇にある仲間がいて、助け合うことでお互いを尊敬し合い、知識だけでなく仲間と強調し、調和することの大切さを教えてくれる先生方がいたからです。大学に進学した今でも、国際コースですでに習ったことが授業で取り上げられることもあり、その度に先生方やクラスメイトの顔を思い出します。麗澤高校の国際コースで学んだことは、今でも私の自信と誇りになっています。

E さん 2004 年 国際コース卒業生 早稲田大学大学院文学研究科修了

国際コースで学んだことは、今の生活においても非常に役立っていると率直に感じています。私は現在、大学院にて英文学を学んでいます。授業において発表の機会が多くあるのですが、効果的な発表構成や方法、パワーポイントやレジュメを作成する際の留意点、または準備やリサーチの仕方など、ニュース・プレゼンテーションにおいて培った経験が十分に活かされています。また、論文やレポートを書くときには、リサーチ・ペーパーを書くにあたって学んだ事柄——文章構成、概要の作成、文献の引用方法、言葉への意識など——の有用性を感じています。国際コースでは、単に文法の間違いやスペルミス指摘するだけでなく、文章の構成や論理が成り立っているかに至るまで、厳しくかつ細かくチェックされます。高校時代からきわめて質の高い授業を受けられたことは、私の大きな財産となっています。

H さん 2003 年 国際コース卒業生 東京外国語大学卒業 現在 国会図書館職員

私が国際コースで学んだことは、英語のみならず「言葉」とは、自分の思いや考えを整理し、それを誰かに伝えるためにあるということでした。ごく当たり前のことですが、それまで一問一答式の勉強ばかりしてきた私にとっては、大きな衝撃であり、困難でもありました。特にスピーチやディベートでは、英語の能力以前に、そのテーマに関して語るべきものが自分の中になくしてはなりませんし、それを他人に、殊に異なる文化を持つ人に伝えるには、独りよがりではない「論理力」が必要となります。私は英語を用いて「自分で考える力」と、さらにはそれらを効果的に人に伝える術までを国際コースで学んだのです。このことは、大学で、そして英語とは直接関係のない仕事について現在でも、私の大きな力となっていただくと感じています。

* 国際コースは平成 22 年より、“International Leadership Course” に名称変更しました。

ILC 説明会 9 月 25 日、10 月 23 日、11 月 12 日

ILC 日本語 ホームページ <http://www.hs.reitaku.jp/english/ic/japanese.html>